

業 種	海運（貨物）
取組分野	（６）情報伝達及びコミュニケーションの確保 （７）事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用
テ ー マ	事故の再発防止対策の検証
取組の狙い	事故情報から防止対策を立案・実施して実施状況を確認した後、管理部門が現場社員とともに事故の再発防止対策の有効性、妥当性の検証を実施することにより、再発防止策をより良いものにする。
具体的内容	<p>佐渡汽船株式会社では、平成26年11月に発生した、定置網を固定するワイヤーにスクリューを接触させた事故について、自社の事故調査委員会が調査を担うとともに、以下の再発防止対策を策定。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① GPSプロッターのアラーム機能を活用して航路中間点及び両津湾内中間点において海上気象・海象を航海日誌に記載する手順を航海計画に追加 ② GPSプロッターに避険線を設定して避険線侵入時はアラームが発報するよう設定 ③ 入港スタンバイが指示された場合、各員が直接船首尾配置に赴く手順から、全員が一旦船橋に集合して作業前ミーティングを行い、情報共有とKYT（危険予知活動）を実施する手順に見直し <p>また、上記の再発防止対策について、管理部門が以下の効果検証を実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> ④ 安全診断、安全総点検及び運航管理者の乗船時に実施状況を把握 ⑤ 対策実施の6ヶ月後、当該船舶に本社（経営トップを含む）関係者が乗船し、現場検証を実施し、船長及び乗組員とともに講じられた対策の有効性・妥当性を検証 ⑥ 現場検証の結果、必要と認められる場合は、当該再発防止策等の再検討、是正措置を指示 <p>【参考】 概要（事故情報の収集、分析、対策作成、実施、有効性等検証の流れ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">事故情報の収集</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">事故分析及び必要な対策（手順）の作成</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">対策（手順）の実施に際し船長と議論して調整、納得</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">対策の6ヶ月後、本社関係者等による対策の有効性・妥当性の検証を行い、必要に応じて手順を見直し</div>



取組の効果	<ul style="list-style-type: none">・ 事故の防止対策の実施後、対策の有効性・妥当性の検証を行うことで、対策の効果が把握できた。・ 定期間航路のマンネリ化を、作業前ミーティングを行うことで注意力の向上が得られた。・ 会社と船員が対策について議論することにより一体感を得ることができた。
事業者名	佐渡汽船株式会社 貨物事業部 (連絡先 025-246-3291)